

のうきよう ちがしべつ



'95 **12** No.252

のうきよう ちがべつ

春から秋へ、躍動を続けた緑の大地。
これから数カ月の冬眠に入り、
翌年に向けての力を貯えろ。



もくじ

- 3 ——— 〈未来を担う若者〉
マイペース酪農を目指して
南俣橋 本多 健さん(23歳)
- 4~5 — **第10回全日本ホルスタイン共進会**
川村清身さん内閣総理大臣賞に輝く
- 6~7 — 〈営農技術〉
**北根室の育成牛の発育は
どうなっているのか**
- 8 ——— **根室管内農業賞**
- 9 ——— 〈輝く女性〉
ゆとりを持って生活を楽しむ
俣橋 中林文子さん
- 10 ——— **星澤幸子さんの料理教室・講演会**
- 11 ——— **根室地区JA青年部大会**
- 12 ——— 〈組合長日誌〉
ヨーロッパ農業を視察してNo. 2
- 13 ——— 〈新婚さんこんにちは〉
憧れから実現した新規就農
尾崎広太郎さん(27歳) 孝子さん(24歳)
- 14 ——— **「より美しく、より輝いて」**
北根室地区農村女性講座
- 15 ——— **農協の財務状況**
- 16 ——— 〈暮らしの知恵袋〉
夢に向かって人生とお金の設計図を作ろう
- 17 ——— **家族協定調印式**
- 18~19 — **今月のフォトアルバム**
- 20 ——— **11月の組合日誌**

あす 未来を 担う若者

南依橋 本多 ^{なげ}健さん(23歳)



酪農ヘルパーも経験しながら酪農に打ち込む健さん

南依橋地区に位置する本多萌牧場は、昭和四十五年に標茶町茶安別から同地に六戸で移転入植。現在、四十二畝の農地面積に乳牛七十五頭（内経産牛五十頭）を飼養する酪農専業農家です。

この本多牧場の後継者として、酪農経営に打ち込んでいるのが健

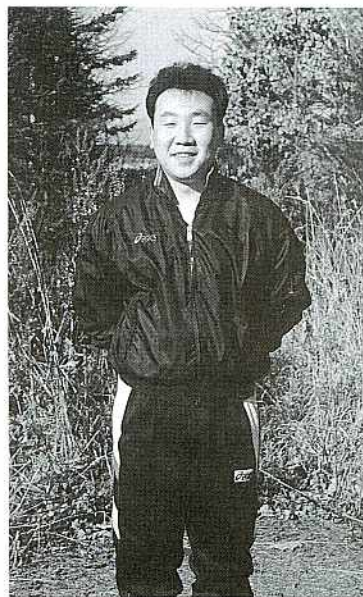
マイペース酪農を目指して

さん二十三歳。

健さんは依橋小学校、中標津広陵中学校、中標津高校と進み、札幌の八紘学園北海道農業専門学校に進学。この学校は、実際に農作業を行ないながら、基礎知識を学ぶ事が出来、実践と勉強を両立していたといいます。一年の時は畑作、酪農、畜産、花、果実などの各部門

を実習。二年生からは自分の希望する分野を選択出来、当然健さんは酪農分野を選んだとの事。「学問的な勉強はあまり身につかなかつたが経産牛五十頭の朝、晩の搾乳や、牧草収穫もすべて学生で行なうなど作業技術の面では身につけ

酪農は毎日、まい日の
つみかさね



趣味は読書、パソコン、ジャズを聞く事

る事は多かった。しかし自分で一番良かったと思うのは、学校の人間関係で、高卒で入った人もいれば社会人からのユーターン、外国からの留学生など、日本を問わず世界各国から多種多様な人が入学しているのです、大きな社会勉強の場となった」と話します。

同学園を卒業と同時に家業に就いていますが「今は父が経営主で、使われている身分。父には農業を継いでくれと言われた事もないし、自分でも農業をやるんだという意思表示をした事もない。

今までは、なりゆきで来た様な気がする。でも自分は、人に使われる

のもいやだし、一日中机に座っての仕事も向いていない。やっぱりマイペースで仕事の出来る酪農が一番いいのかな」と酪農を志す気持ちが広がっています。

今は、青年酪農ヘルパーとしても活躍し、家業外の色々な酪農家で多種の経験をつんでいます。

また近年中に牛舎新築の計画もあり、ヘルパー作業をしながら色々な施設を見、研究中との事。「酪農は毎日まい日のつみ重ねでなり立つもの。一年三百六十五日を有効に使い、先を急ぐ事なくマイペース酪農を目指したい。その中で自分の好きな小説を読んだり、パソコンやジャズを聞いたり趣味も楽しめたらなあ」と話す健さんです。

第10回
全日本
ホルスタイン共進会

母系牛群で川村さん

名誉賞(内閣総理大臣賞)に輝く

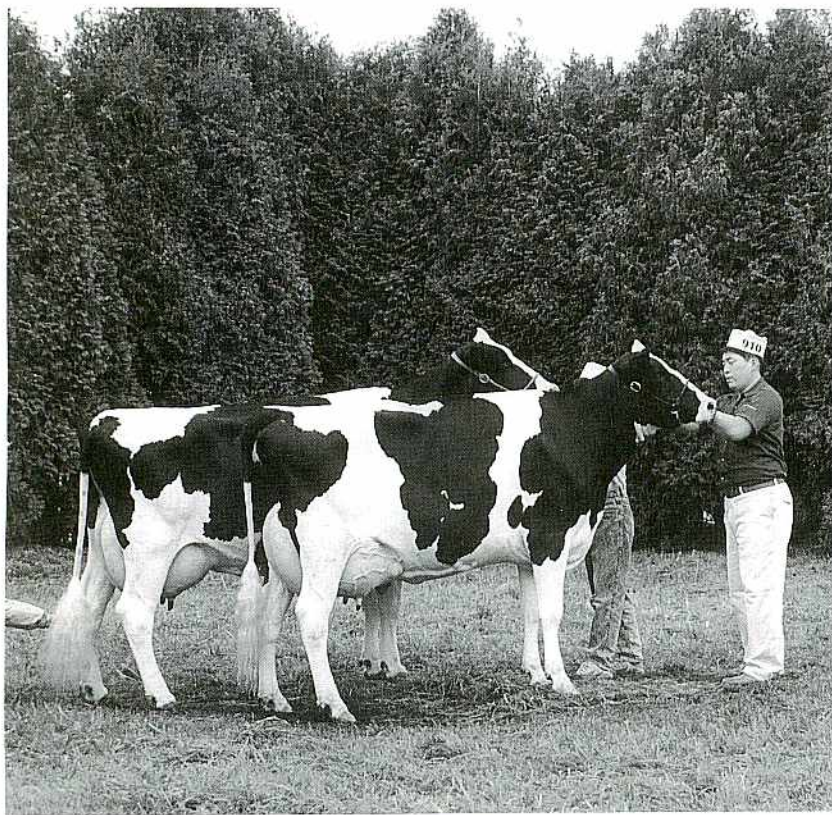
ついに全国制覇!

五年に一度開かれる酪農家の祭典、全日本ホルスタイン共進会が千葉県千葉市で開かれ、中標津町農協より四頭が出品(根室管内十頭出品)十一月十五日千葉市に出发しました。

出品者は長旅の疲れを癒したり、身繕いし、体調を整えながら開催日の二十三日から始まる本番に向け、牛の体を気遣っていました。

千葉市は大消費地でもあるため、出品者皆さんは消費者の目を気遣いながら、また、このチャンスに酪農をもっと消費者に理解してもらおうと最後の調整に入りました。

共進会場の付近では、全国各地のよりすぐった畜産物の特産品が一堂に「特産畜産物フェア」が共進会と、国産畜産、乳製品の需要



内閣総理大臣賞を獲得した川村清身さんの出品牛

合理化澱粉工場操業終了する

原料処理417,351俵、製品出来高221,400袋



袋詰めされた製品は次々と運ばれます

九月十四日から受入れを開始しておりました農協合理化澱粉工場の操業が、十一月十五日に終了致しました。

今年には操業期間中の大雨によって組合員各位、ご苦労されたと思われませんが、原料堆積場の設置により工場においては原料切れがなく、一日も休まず操業出来た事に對し厚くお礼申し上げます。

最終原料処理量は四十一万七千三百五十一俵を処理する事が出来、製品出来高は二十二万一千四百袋と、回収率においても前年を上廻る事が出来ました。

拡大を目的に同時開催され、大にぎわいの会場でした。また、各地自慢の特産品、乳製品、豚肉加工品を展示即売とあって列が途切れなかつたほどです。

千葉県は酪農発祥の地でもあり、自元有志が消費者、子供達を対象に「酪農ふれあい広場」を設置、搾乳体験、仔牛とのふれあい、この地の大学生によるミニ動物園もあり、子供達でこったがえしてました。

入賞を宿命づけられている北海道ですが、最近府県の乳牛も質的、体型的にも差がなくなり、緊張気味にも「ここまできたら」と名誉賞獲得を胸に本格的な審査に備えていました。

中標津出品牛の状態は当日も良く、二十四日の審査対象だった川村さんの母系牛群は、期待されながらも見事優等賞一席を獲得し、さい先の良いスタートを切り、二十五日に期待がかかりました。二十五日午後の審査になった弾正原さん（八部）、福嶋信一さん（多回検定）出品でも優等賞、一等をそれぞれ上位入賞を果たし、二十六

日のチャンピオン戦に希望を託します。当日もコンディションが良く、管内出品者の声援を受けながら、緊張の中にも「もしや…」期待と不安の中で待つ事数十分、ついに指名され、瞬間「頭の中は真っ白、地に足が着いた状態でなかった」と本人の感想でもありました。長年の地道な改良の成果がむくわれ、錦を飾って帰町しました。三人の出品者の長い間のご苦労を心よりお祝い申し上げます。



全国各地から延80万人以上が訪れた千葉県の会場



全国からの乳牛と観客の中、行なわれた共進会

お目出とうございます。

受賞は次の通りです。

名誉賞（内閣総理大臣賞）

母系牛群 出品者・川村清身

○オレーター バリアント コピ

ーライト

○リバーレレッジ ロックマン

オレーター

優等賞四席 出品者・弾正原正

○サニーテール ネリー トルプ

ル バーク

一等賞三席 出品者・福嶋信一

○ハッピーランド バリアント

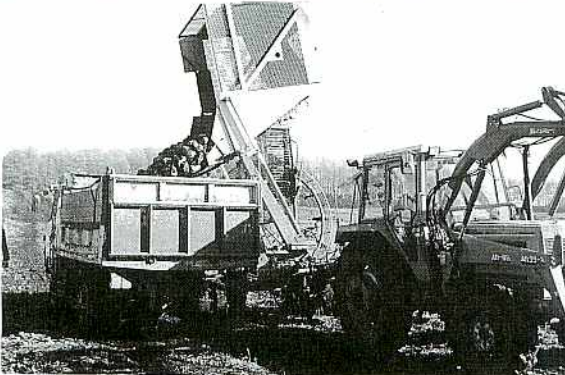
マットマリー

てん菜の出荷終える

糖分高く増収入

平成七年産てん菜出荷が十月十九日から始まり、十一月二十二日で終了致しました。

平均収量についてはお当り四八・三ト（前年五四・六ト）と減収致しましたが、平均糖分は一七・三割（前年一六・一割）と上廻る事が出来、収量は減収致しましたが糖分で上廻ったため、前年と同様の増収となりました。



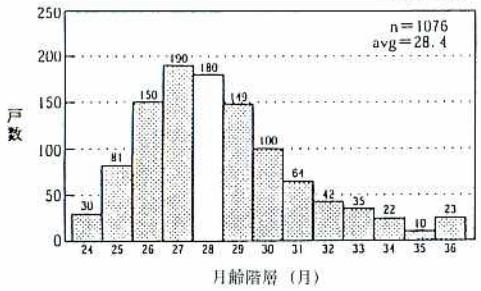
高糖分で終了したてん菜の収穫

北根室地区農業改良普及センター

北根室の育成牛の発育
はどうなっているのか

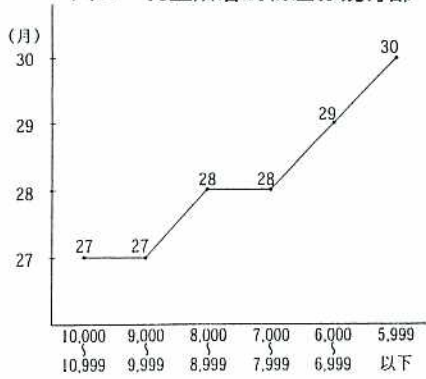
ここ四〜五年間、育成牛の飼養管理方法についての国内外の情報を講演会などで聞かれた方も多いと思われます。このコーナーでも昨年取り上げた経過があります。「適正な栄養レベルと良い環境

図1 初産月齢農家戸数分布 初産月齢



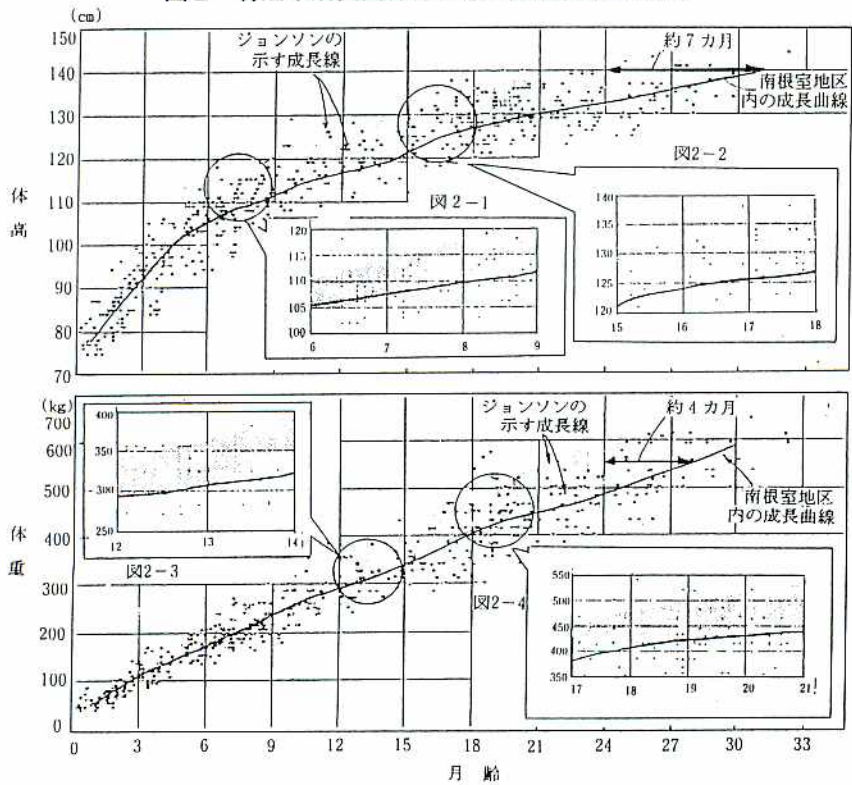
注1) 階層分け: 例 28の階層→28カ月以上29カ月未満
注2) 24の階層は25カ月未満の、36の階層は36カ月以上の戸数の合計値
※28〜28.9カ月が平均で180戸です。

図2 乳量階層別初産分婣月齢



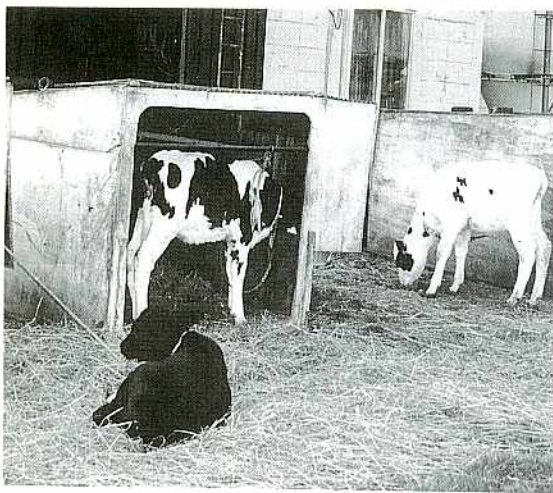
とグループ分けをうまくやれば、必ず発育が良くなり、早い時期に初産分婣を迎え、乳量もアップします。良い発育をするように定期的なモニターを行ない、総合的な改善を行なって下さい」というのが概要です。
では実際、育成牛の発育はどの

図3 育成牛成長曲線の目標と実態(体高、体重)



ようになっているのか、それぞれの項目について確かめてみましょう。
一、初産分婣月齢
根室管内乳検成績によると、平均初産分婣月齢は、二八・四カ月

と目標の二四カ月(現在は二二カ月とも言われている)に比べて明らかに遅くなっています。二四カ月で分婣させている農家戸数割合は、わずか三割弱にすぎません。乳量階層別初産分婣月齢を見ると、



一頭当り乳量の高い農家の方が、初産分娩月齢を短くさせている事がわかります。

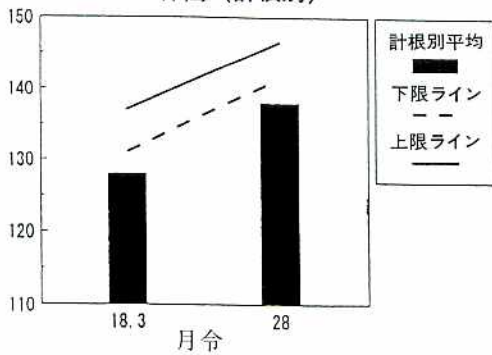
二、体重・体高

根室管内における育成牛の体重・体高については南普及センターで調査しているので、紹介します。

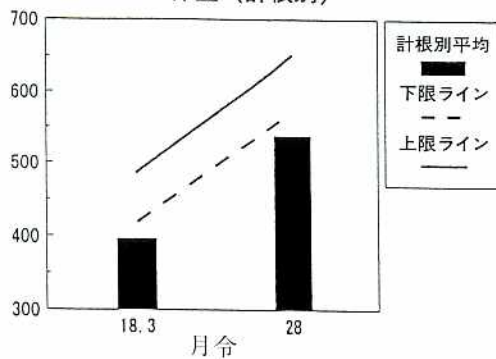
体高を見るとジョンソンの成長曲線に対して、七カ月齢くらいから目標値の下限を下回りながら、一・二〜一四カ月齢では較差が最大になります。その後、若干持ち直すものの目標値の下限を下回ったままです。

一方、体重を見ると、三カ月齢くらいまでは目標値の上限を上回っており、一三カ月齢くらいから

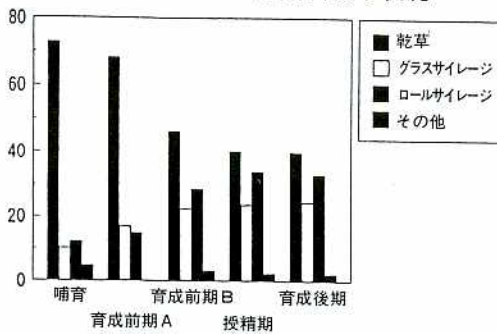
体高 (計根別)



体重 (計根別)



育成牛における粗飼料給与状況



目標値の下限を下回っています。その後、若干持ち直すものの目標値の下限を下回ったままです。

J A計根別における調査においても同様の傾向が見られます。

三、育成牛の粗飼料給与状況

育成牛発育のカギを握ると言われている粗飼料の給与状況を、J A計根別で行なった育成牛調査で見てみましょう。

哺育当時は圧倒的に乾草給与が多く、徐々に割合を減らしてきています。育成後期においても、四割弱が乾草給与を行なっています。乾草の次に多いのがロールペー

ルサイレージ、そして次がグラスサイレージとなっています。サイレージ給与は、当然のことながら、乾草が減ったのとは逆に、哺育期から徐々に増えてきています。

現在の乾草の刈取状況を見ると、品質的にはけっして良い物とは言えず、品質面での不利さが発育に大きく影響していると思われます。このことは、何も乾草に限った事ではなく、サイレージにおいても親よりも良い物が給与されるといふ事は少ないように思われます。

育成前期は、搾乳牛と同様（またはそれ以上）に良い品質の粗飼料が必要と言われているので、授精前の育成牛の粗飼料品質には注意を払ってほしいものです。

四、最後に

調査結果からわかるように、育成牛の発育は、以前よりは改善が図られつつあるものの、けっして良くはないという事が言えます。

発育の良くない理由の一例を、粗飼料品質で取り上げて見ましたが、全体を表現していませんので、また機会があればこのコーナーに載せたいと思います。

根室管内農業賞に8人が受賞

根室農業の振興に貢献

第十九回根室管内農業賞表彰式が十一月二十日、中標津町寿宴で行なわれ、JA中標津・西井武氏ら七農協から八人が表彰されました。

30 根室管内農業賞表彰式



多数の関係者が見守る中、行なわれた表彰式

JA中標津
から
西井武さん



晴れやか西井さんご夫妻

この賞は、根室管内農業賞委員会（高橋節郎委員長）が主催するもので、根室管内の基幹産業である農業の振興に貢献され、農協運動と農業経営の実践で功績を残した功労者を表彰するものです。

式では受賞者八夫妻のほか、各農協組合長をはじめ、根室支庁、町、農業委員会など各関係機関からの約五十人が出席、農業の振興に尽くされた先人に黙禱をささげた後、高橋委員長が「厳しい時代の中、困難に立ち向かい根室農業の発展、農協運動に尽力されたことに深く感謝申し上げます」と受賞者を讃えました。続いて、高橋委員長から賞状や記念品が受賞者夫

妻に贈られました。

最後に、受賞者を代表して西井武氏が「名誉ある受賞に大変感謝申し上げます。今後も地域農業、農協発展のため頑張って行きます」とあいさつされました。

その後、祝賀会に移り、出席した関係者が受賞者を祝いました。受賞者は次の通りです。

- 西井 武氏（中標津町武佐）
- 行田 晋氏（標津町川北）
- 須崎 源藏氏（中標津町西竹）
- 石毛 達男氏（別海町大成）
- 櫻井 福治氏（別海町西春別）
- 尾形 春雄氏（別海町美原）
- 小椋 吉夫氏（別海町別海）
- 石橋 義朗氏（根室市北浜町）

④
ファイト&トライ

輝く女性

昭和25年11月26日、俵橋で生まれる。

俵橋小中学校を卒業後、家業である酪農、畑作を手伝い23歳で結婚。現在、乳牛78頭を飼養する酪農専業農家。

家族は、祖父、祖母、二男一女とご主人の7人家族。



ゆとりをもって生活を楽しむ

「私なんて無趣味、無芸なのよ」なんて言うけれど、パッチワークなどに挑戦したりと、楽しみをもっている中林さん。

「婦人部の活動でも、何か自分で楽しめる事が見つければいいなと思って参加してるの」といいますが、今年の春から、婦人部の役員として、参加する側から、計画する側に回り大変さも感じたようです。

「周りのみんなについていくのに精いっぱいよ」と言いますが、婦人部の活動を支える大きな柱として頑張っています。仕事の面では、ご主人の忠雄さんをサポートし、また時には相談しあいながらの良きパートナー。先日、経営と環境は関係あると聞いたけれど、そうかもしれないなって感じた」と言います。誰のためでもない自分達の経営なのだから、心地良い環境をつくっていかなければ今後の農業には残っていけないのでは、と女性の目から見た今後の経営をしっかり考えているようです。

「立派な芝生や建物にこだわらずまず自分の家の周りの草とりからだよ」と明るく笑います。

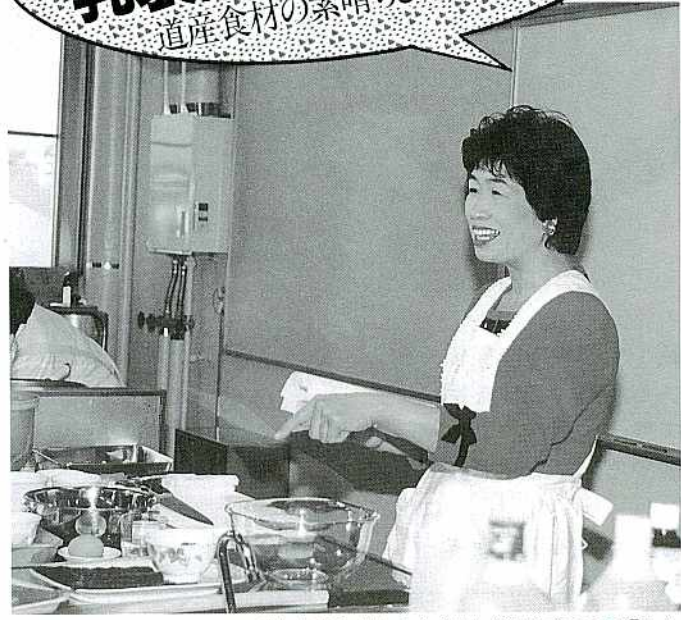
四年前から、アprestobarに1にし、仕事や生活の面で少しづつゆとりができたようですが、昔から、年に1-2回の家族での旅行を計画し、心のゆとりを大切にしてきた中林さんファミリー。仕事に追われるのではなく、生活を楽しくするという事が基本のようです。「子ども達も大きくなったから、お父さんと二人で色々な所へ行こうと思ってます」と話す文子さん。冬には歩くスキーにもチャレンジするなど、まだまだ楽しみを増やす計画のようでした。



ご主人の忠雄さんと、まだまだ楽しみを計画中です

星澤幸子さんの料理教室講演会

おいしく食べよう
乳製品をもっと身近に
道産食材の素晴らしさにこだわって



笑いも交え、おいしく、楽しい料理を教える星澤さん

STV「どさんこワイド」でおなじみの料理教室講師、星澤幸子さんを招いての料理教室と講演会が十一月十九日、中標津町総合文化会館調理実習室及び根室地区NO SAI中標津事業センターで開催されました。

A組合員はもとより一般町民向けに「乳製品をもっと身近に、おいしく食べよう」と中標津町農協酪農対策協議会、牛乳消費拡大特別委員会（川村清身委員長）が主催した。午前中の料理教室には農村婦人を始め、町商工会婦人部、町消費者協会から三十七人が参加し、五品目の牛乳を利用した料理

に挑戦しました。

星澤さんは、各材料の使い方、切り方など理由も含め説明を加えながら手本となる料理をスピーディーに完成。調理中も手は休む事なく、テレビ撮影中のエピソードや自らの体験談など、時にはお笑いも交え楽しく調理していました。その中でも「道産素材の素晴らしさ、特に道東には伯爵いも、シヤケ、昆布、自給野菜、そしておいしい牛乳、乳製品が豊富にある、良い素材を選び、おいしく料理し、楽しく相手と食べる。これがおいしい料理なんです」と強調しました。参加した婦人の方々は熱心に耳を傾け、料理のポイントなどメモを取っていました。続いて各班に分かれ実際に料理作りに挑戦、星澤さんのアドバイスを受けながら約一時間ほどで全品完成、その後、全員で試食を楽しみました。

午後からは「おいしくたべよう」



さすが先生、婦人の方々も注目です

「乳製品をもっと身近に」のテーマで講演会が行なわれ、会場には主婦を中心に約二百人が訪れました。講演の中で星澤さんは、「二十世紀には食料を自給していない国は大変な事になる。日本は自給措置が取られていない、あと五年後には食料不足に陥いる。作れる所で作らなければ大変」と食の危険性を指摘。その中で「安い農薬を多く使った輸入食料を食べていると危険」とも強調し、「安全で、しかもおいしい道産素材にこだわりのもった食料の利用で、楽しく食事を」と力を込めました。



平成七年度根室地区JA青年部大会が十一月二十一日、中標津町の寿宴で開催され、管内から約百人の青年部員(内、婦人部フレッシュユミセス十四人)が参加し、パネルディスカッションや分科会など根室酪農の将来像を考えました。

今年の大会テーマは「どうする根室酪農」(二十一世紀へ向けて

A標津)の三人を

パネラーに、コー

ディネーターを岡

田竜太郎氏(北根

室地区農業改良普

及センター次長)

があたり「二十一

世紀へ向けての経

営戦略を考える」

21世紀へ向けての根室酪農を考える

根室地区JA青年部大会

の経営戦略を考える」と題し、開
会にあたり林義和会長(JA根室
地区青年部連絡協議会)が「二十一
世紀に向けて次世代に酪農を引き
継ぐため、青年部、後継者として
自分たちは何が出来るのかを考え
ていただきたい」とあいさつ。

続いてパネルディスカッション
が行なわれ、管内ファームアドバ
イザーの安田稔氏(JA中標津)奥
山秀助氏(JA中春別)安達護氏(J

と題して、三氏が想うそれぞれの考
え方が話されました。

まず奥山氏は「生産するだけの農
業から付加価値のある加工品の販売
消費者に直結できる農業作りへ」と
提唱、安達氏は「糞尿を利用した健
康な乳牛作りの酪農、根室草地形
高密度経営システム化構想という
五つの柱(①国際化酪農②消費者
ニーズに応える酪農③環境問題④

根室地区JA青年部大会



将来の根室酪農を考えた大会でのパネルディスカッション

労働力、後継者対策⑤総合的な農
業経営費の縮小)を提言。さらに
安田氏は、「将来目標を持った中で
の効率な経営メリットを求め、環
境整備、家族のうるおい、ゆとり
作りを」と話されました。

その後、パネルディスカッショ
ンの意見を踏まえ、四分科会第一、
家族経営と規模拡大の可能性を考
える。第二、生活の場としての農業

経営を考える。第三、組織の再編整
備を考える。第四、地域社会への
貢献を考える。に分かれ根室農業
の方向性がさまざまな角度から討
論されました。

また、今回初めてJA婦人部フ
レッシュユミセスも参加、分科会に
も出席し女性として考える農業感、
家族生活なども話され、より内容の
深い分科会となりました。

最後に組織事例発表では、JA
別海青年部の牛乳消費拡大事業と
して取り組んだ贈答用バター、チ
ーズの取りまとめと全国青年文化
祭物産市参加の活動事例が紹介さ
れました。



今回初めて行なわれたフレッシュユミセスを交えての分科会

ヨーロッパ農業を視察して②

ここ数年の傾向とはいえ、初冬にも拘らず暖かい日々が続いています。

暖冬は仕事もはかどり、過ごし易くて良いのですが、来年の夏を思う時、ふと不安になってしまいます。

八十八歳の米寿を目前にして逝った母の野辺の送りをして来ました。明治、大正、昭和、平成と関東大震災、戦災で家を失い、四男四女を生み、育て、順逆で家族を次々と失う中、逞しく生きぬいた人生でした。名もない市井の人々の力に依って、今日の日本の繁栄があります。その繁栄の中で育った、我々以降の世代の脆弱さを改めて噛みしめました。

人の死は残された者に生の意味を問いかけ、残された者の生命の内面に昇華して、生きる尊さとして力を与えてくれました。

驚く程の早さと慌しさの中で一年が経過し組勘の締めと、来年の営農計画がはじまります。

今年の組勘の数字は日々の農業の積み重ねの結果であり、営農計画は日々のあり方の目標です。実績は現実の証明であり、全ての出発点です。実績の原因を直視

● 今月のたより……

組合長日誌

代表理事 組合長

三友 盛行



して、実行可能な計画を家族で理解、一致して樹立して下さい。

ヨーロッパ視察編 No. 二

デンマーク

首都コペンハーゲンから空路で

一時間余りのリーベでバイオガスプラントを視察しました。

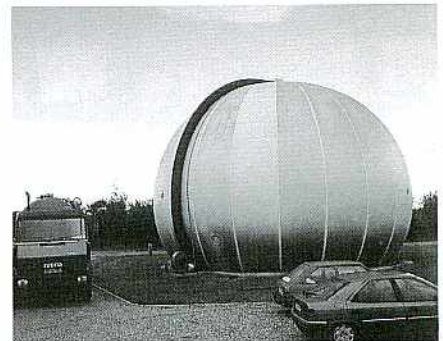
一九九〇年、省エネルギー、フン、尿の処理のためメタンガスの発生、利用の施設が建設されました。原料はフン、尿のみでなく食品工場の残渣物、生ゴミを混入してメタンガスを発生させて、パイプラインにて市街に送り、発電用のタービンを回し、余熱を地域暖房にも使用していました。

自然保護のため、環境法があり九カ月分のフン、尿タンクが義務づけられており、また畑への還元も決められてしまいました。

個人で解決出来ない問題を共同化によって解決していました。

二十トンのスラリー車三台で、毎日三百〜四百トンを七十五戸〜百戸から集めていました。

ガスを取り出したフン、尿は原料の九五割で戻り、バクテリアがなく、窒素の吸収度も高くなり弊害もなく、その散布には市民も納得をしているとの事でした。原料としてのフン、尿の質が問われ、固形分の少ない物はペナルティの対象であり、肥料効果は加里を足



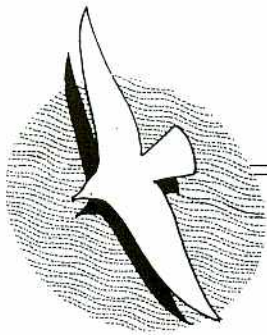
バイオガスプラントのガス貯蔵タンク

して完全肥料として、経営の削減に貢献していました。

残念ながら日本の電力供給のシステムでは、実現は無理だと思いました。

日本のローカル空路に比べ西欧は合理化が徹底していました。

空港は質素であり、切符切りはスチュワーデスが兼務、地上誘導員も無く、離発着が早く、時間のロスがありませんでした。一空路に数カ所の停留空港があり、全て自由席で、まるで乗り合いバスの感覚でした。機内ではコーヒー、紅茶以外は水をはじめ、有料であり、物事の本質を重視し虚飾を省くという合理性に感心しました。



新婚さんこんにちは

尾崎広太郎さん(27歳)
孝子さん(24歳)



自然の中で家族と動物と豊かな心を持ち暮らしたいと話す尾崎さん

憧れから実現した新規就農

「自然の中で家族と動物とともに、おいしい牛乳を生産したい」と、新規就農に向けての抱負を話す尾崎広太郎さん、孝子さんは十一月十九日、中標津町農協大会議室で地域の有志による手作り結婚祝賀会で、新生活のスタートをきりました。

広太郎さんは東京出身で、映画「遙かなる山の呼び声」を見て北海道に憧れ、北海道の大学(北大農業工学科)に進学。その後、農業を志す気持ちが強まり、十勝の清水町に二年間牧場実習に入りま

した。実習を積むうち酪農へのあこがれがさらに広まり、自分の理想とする地を求めて中標津のヘルパー(南ファム・エイ)に就職。新規就農に向け勉強していました。

一方の孝子さんは愛知県出身で動物好きだった事もあり、アルバイトニュースを見て訓子府町の酪農実習生として北海道へ。孝子さんも実習を積むうち酪農への思いが増し、新規就農へ向け北見や置戸町の酪農ヘルパー活動をしていました。

二人の出会いは、孝子さんがヘルパー作業中、バルクの上に置いてあった一冊の本(三友さんの書いた、風土に生かされた酪農への道案内)で、興味を持った孝子さんが中標津の三友さん宅へ手紙を出したのが始まり。三友さんは新規就農を志す二人を紹介、交際を続けて今回のゴールインとなりました。

現在、就農地も第二俣落の新生地区に決まり、施設整備など着々と営農の準備が進んでいます。十二月中には乳牛が導入される予定で、搾乳の出来る日を楽しみに待つ広太郎さんと孝子さんです。

3か月子報

北海道地方長期予報

財団法人気象協会北海道本部



気象概況

この期間、気温の変動が大きいです。この期間の気温、降雪(水)はともに平年並の見込みです。

十二月

時々冬型の気圧配置になるでしょう。日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

一月

冬型の気圧配置の日が多いでしょう。日本海側では曇りや雪の日が多く、太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

二月

時々冬型の気圧配置になるでしょう。日本海側では曇りや雪の日が多く、太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

料理講習や 農村環境フォーラムで学ぶ

十一月十六日(木)、第二十一回北根室地区農村女性講座が、雪印乳業中標津工場研修室で開催されました。



より美しく、より輝いて

北根室地区農村女性講座

標津、計根別、中標津の農村女性を対象に開かれ、当日は約三十人の参加者が集まりました。

午前中は「伝えようミルクからのメッセージ」と題しての料理講習会。参加の皆さんは、牛乳やチーズを使ったメニュー五品を手際よく調理しながら、楽しく交流を深めていたようでした。

全品完成後は、来賓を囲んでの会食となりました。

午後からは、農村環境フォーラムとして、中春別農協副組合長の奥山秀助氏を講師に招き、「緑あふれる農村を目指して」と題しての講演が開かれました。

奥山氏は、道のファームアドバイザーとしても活躍されており、参加の皆さんは、真剣にお話を聞いていました。



講師の奥山秀助氏



環境整備について意見を交換しあいました

働きやすく、生活も楽しめる良い環境づくりが今、一番大切であるという講演の後、スライドを見て、テーブルディスカッションへと移りました。各テーブルでは、「家の周りの小さな事から、とり組んでみよう」や「自分の夢に向かって努力していこう」など意欲的な意見が交わされていました。

今後も、美しい農村づくり、樂しめる農村生活を目指していこうと確認しあい終了となりました。

農協の財務状況

十月末における農協の財務状況についてお知らせします。

◎貸付金

受託資金、クミカンを含む貸付金総額では昨年同期に比べ一億四千四百万円の減少となっております。主な部分はクミカン貸越額の減少分です。

◎クミカン

十月末の状況は、昨年同期に対し一億二千万円好転しています。収入全体では、乳代が一億四千四百万円が減少し、個体販売が一億二千八百万円増加し、乳代の減少を個体販売でカバーしている状況にあり、農外収入などの増加もあり収入合計では約五千万円の増加となっております。支出については、飼料を始め農業支出で一億二千三百万円が減少しています。家計費外の増加もありますが、支出合計で約六千九百万円が減少しています。

◎貯金

昨年同期に比べ、一億三千五百万円の増加になっていますが、六

年度の伸び率に対し大幅に減少しており、計画達成に苦しい状況にあります。金利状況最悪の状況にありますが、今後もご協力を願います。

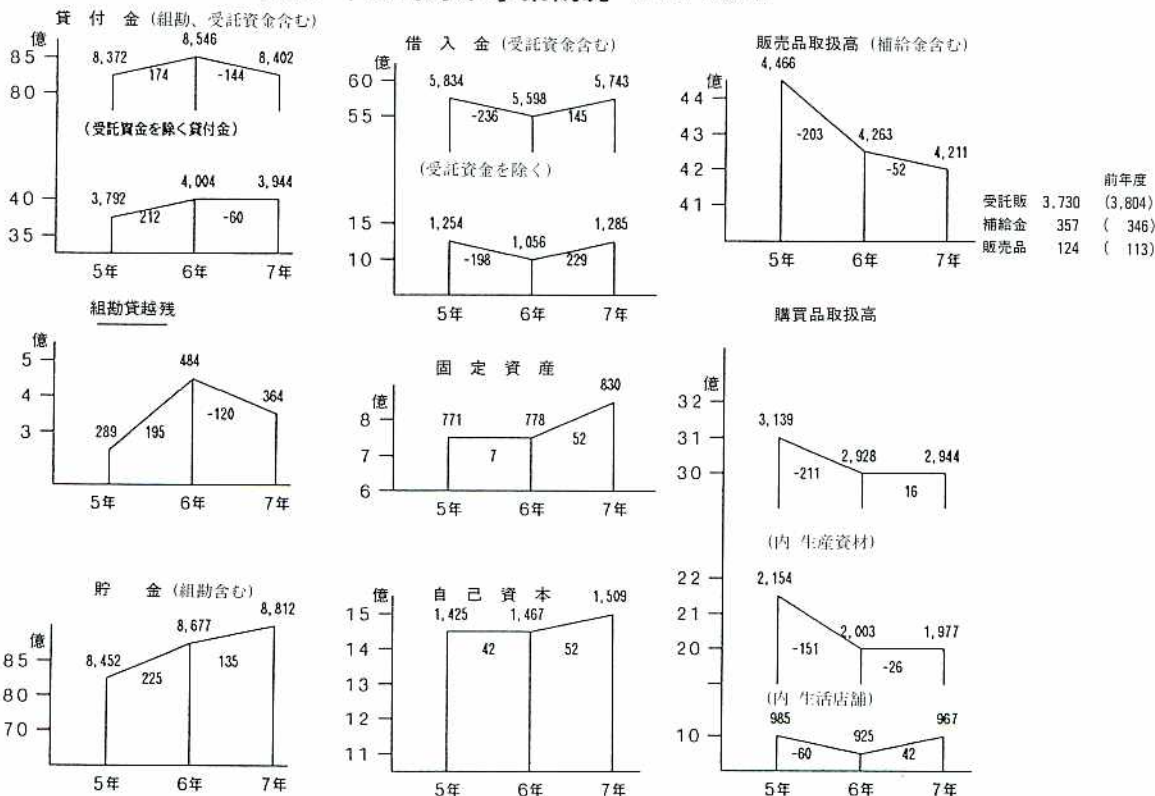
◎販売事業

乳代の減少により昨年同期に比べ取扱い高で五千二百万円減少していますが、個体販売などに積極的に取り組んでおり、下期の事業展開についても一層の努力をしてまいりますのでご協力をお願い致します。

◎購買事業

長引く景気の低迷により苦しい事業展開になっていきます。生産資材については、飼料、肥料などの価格引き下げもありますが、昨年同期に比べ二千六百万円の減少になっており、昨年に引き続き停滞状況にあります。生活店舗については、昨年同期に比べ四千二百万円増加し、一昨年の水準まで近づき下期に向けより一層の努力をしてまいりますので、皆様方のご協力をお願い致します。

平成7年度10月末事業概況 (単位：百万円)



暮らしの

知 恵 森



夢に向かって
人生とお金の
設計図を作ろう

北根室地区農業改良普及センター

今年も一年を振り返り、新しい年に向けて準備をする時期となりました。皆さんにとって今年はどういう年でしたでしょうか、また、来年の計画はどう考えているでしょうか。来年に向けて、経営面の計画はもちろん重要なことですが、家計においても経済活動である限り、計画を立て管理していくことが重要です。

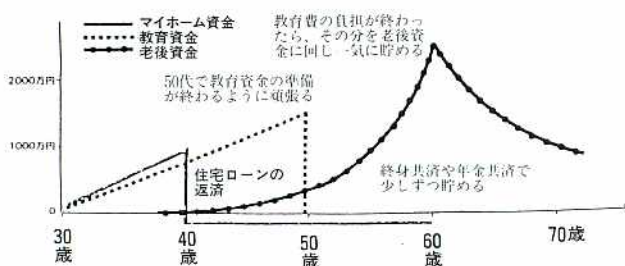
家計を考えると、日常生活に関わる費用とともに大きな節日ごとに費やす費用、例えば教育資金、住宅取得、結婚、老後資金などがあります。今ほどお金がかからなかった時代は一日、一カ月、一年単位で家計を管理し、節約し

て余らせたお金を貯蓄していくことで、いろいろな生活目標を達成することができました。しかし今はどうでしょうか。住宅費を考えても住宅を取得するためにはローンを組み、二十年、三十年といった長期にわたって返済をしていくかなくてはなりませんし、住宅の取得時期によっては教育資金や老後資金づくりに支障がでてしまいます。また、教育費も高校、大学と進学していくにつれ家計費に占める割合も大きくなりますから、慎重に計画を立てておく必要があります。このように住宅と教育、自立した老後の三つの生活目標の実現が難しい状況です。そのような中、

長期的な生活設計に基づいて日々の家計を管理していく必要性が高まっているといえます。三十、四十代をみてみますと三大資金が重なり、家計がもつとも苦しい時代といえます。図のようこの年代の最大のテーマは教育資金とマイホーム資金です。この二つをどうクリアするかです。目標は子供が高校、大学に進学するまでに教育資金の準備を終わらせてしまうこと、住宅ローンの返済が定年までに終わるように繰り上げ返済などをおこなうこと。三十、四十代でこの二つがクリアできれば五十代で老後の資金づくりに集中できます。住宅ローンの繰り上げ返済まで手が回らないときは、それも五十代のテーマにしてもよいでしょう。

一口で判断するのではなく、自分の生活設計から判断するのが一番だと思います。貯金方法などいろいろ、何のために、いくら必要：という計画が先にあるのは、急がば回れのことわざではありませんが、お金の回りのことを考えようと思ったら、まず長期的な生活設計を立てるのが先決といえましょう。年末のこの時期、長期的な計画を家族で話し合い、ゆとりのある生活を考えてみてはいかがでしょうか。

■30代～40代のライフプランと3大資金



家族協定調印式 家族円満に 経営移譲

第16回家族協定調印式



調印式を行なう佐藤さんご夫妻

第十六回家族協定調印式が十一月二日、中標津町役場会議室で開催され、経営移譲を受けた六組の



移譲するほうも受ける方もなごやかな中での調印

家族が調印を行いました。

同式を主催する中標津町農業委員会では、この家族協定を昭和六十一年から実施し、今までに百三十五組が調印を行なっております。

今回調印を行なったのは第二俣落、佐藤載康さん、武佐、真野吉光さんら六組の家族で、各農業委員、関係機関が立ち会う中、経営の全権を移譲するにあたり、家族間での円満な取り決めがなされました。

冬道での安全運転

凍結、雪道では心にゆとりを

北海道の冬道は、雪や寒さなどの気象条件によって刻々と路面状態が変化するため「冬型事故」が発生しています。

また「スパイクタイヤ粉じん発生の防止に関する法律」に基づき、スパイクタイヤの使用が禁止され、脱スパイクタイヤ化は全道的に進んで、更に交通事故の多発が心配されます。

このような状況化で交通事故を防止するためには、実際に車を運転する方々が冬道の特徴、自動車タイヤの性能を正しく理解し、その性能に応じた運転を行なう事が必要です。

交通事故は四十五・一秒に一件



発生し、一日平均約三十一人が死亡している状況です。
凍結路面、雪道では心にゆとりを持って、安全運転をいたしましょう。

一日皆貯金、総額で78,473円

平成七年度一日皆貯金につきましては、十月十六日から二十七日まで、組合員宅及び町内各ご家庭を訪問し実施いたしました。

実績では、組合員、準組合員、員外を含め総額で七千八百四十七

万三千七百二十九円となりました。
農業情勢、経済状況の厳しい中ではありますが、皆様の多大なるご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



オツなかなかの大物と注目かな？

夜釣りの楽しさ味わう 青年部中標津支部 釣り大会

青年部中標津支部（小林精一支部長）主催による釣り大会が11月9日、野付砂浜で行なわれ約30人の釣り仲間が参加。当日は風が強く高波を心配していましたが、べたなぎ状態のベストコンディション。

大会は1人竿1本で1時間30分の持ち時間。釣り始めの合図でいっせいに釣り糸を海に向け第1投。この日はなかなかの入れ食い状態で次からつぎと引きがあり、ダブルやトリプルと大小のコマイが面白いくらいに上がりました。また、美味しい豚汁やあま酒も用意され、身も心も温まる大会となりました。



当日優勝の高橋さん 魚を数える戸もルンルン

フ オ ト ア ル ズ ム



三層合同で楽しいボウリングとなりました

ボウリング で交流を 深める

婦人部ボウリング大会

婦人部員同志の交流を深めようと11月24日、ウコウボウルで、婦人部ボウリング大会を開催いたしました。

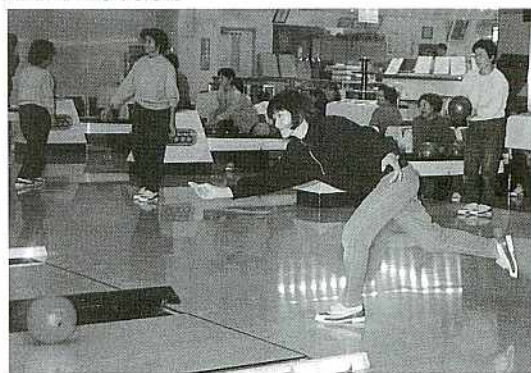
フレッシュミセス、中堅、青葉会の三層合同で計画したこの大会。当日は、27人の部員が参加し、楽しい半日を過ごしました。

結果は次の通りです。

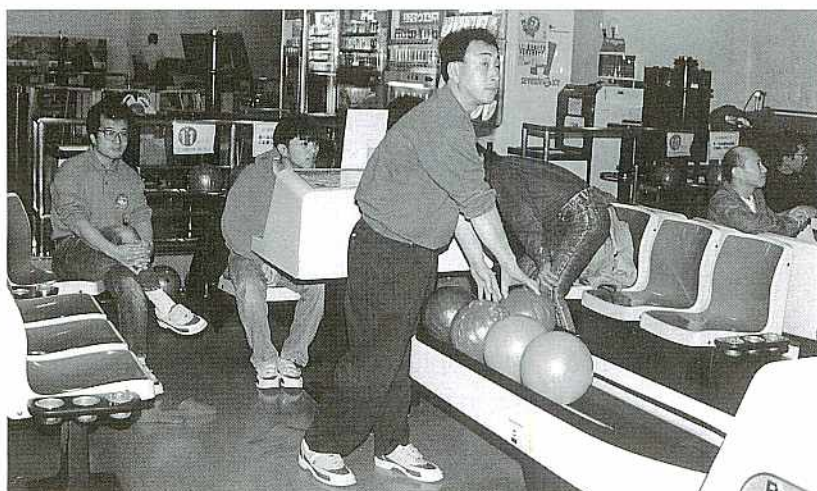
1位 武田静子(俣落)、2位 秋山祝子(俣落)

3位 真野ゆか(武佐)

ブービー賞 湯山俊子(武佐)



各レーンでは大変盛りあがっていました



ストライク、 スペアーに 歓声！

青年部ボウリング大会

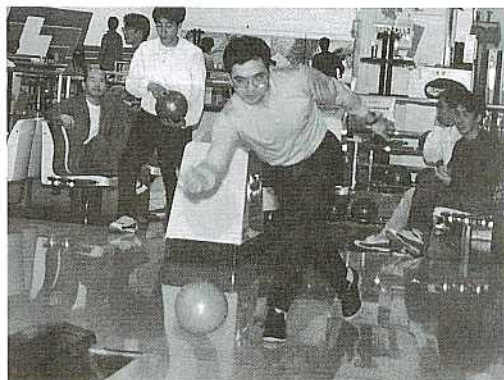
自分のスコアを確認、次の一投に期待をかけます

農協青年部レクリエーション委員会企画による交流ボウリング大会が11月27日、ウコウボウルで開催され、各支部から17人が参加しました。

大会は個人戦3ゲームが行なわれ、ストライクやスペアーが出るたびに周りから歓声があがり、地区を越えた楽しい交流ボウリングとなりました。

大会の結果、上位者は次の通りです。

- 1位 佐藤 敏 (中標津支部) 461ピン
- 2位 清原孝志 (武佐支部) 452ピン
- 3位 笠原康広 (俣落支部) 449ピン



マイボールでないのが残念と山下さん、でもナイスフォームです



アスレチックと
次々にマジックを披露します

落語、マジックの競演会 なかしべつ寄席

なかしべつサンツリー倶楽部主催による、第12回なかしべつ寄席が11月22日、ホテル秀月で開催され、会場につめがけた約200人の客が落語やマジックショーを楽しみました。

落語では毎回お馴染みの入船亭扇遊師匠が、言葉巧みなお笑いを交えての古典落語を披露。

また、マジックでは、ハワイのマジックコンテストに入賞した芸歴を持つ花島世津子さんが、トランプや縄を使った数々のマジックを披露し、観客をマジックの世界に引き込みました。



会場からは、たくさんの笑いと拍手が



お馴染みの扇遊師匠、顔見知りの客も
たくさん増えました



- 1日 婦人部三役会
- 2日 馬事同志会役員会
- 6日 乳牛改良同志会役員会
- 7日 家畜自衛防疫組合役員会
- 13日 マリンスファーム全体会議
- 14日 第3回特別委員会
- 15日 第4回牛乳消費拡大特別委員会
- 17日 第5回管理購買委員会
- 21日 婦人海外研修会議
- 28日 第9回青年部役員会
- 29日 町立病院経営研究協議会
- 30日 第5回営農委員会

平成8年度 別海高校 農業特別専攻科学生募集案内

学生募集要項

- 修業年限 2年
- 募集定員 酪農経営科 20人
- 出願資格 平成7年度高等学校卒業見込みの者
酪農の基礎技術を学びたい者
新規就農を考えている者
その他（詳細は専攻科まで）
- 出願受付 平成8年1月17日(水)～1月31日(水)
- 出願書類 入学願書、健康診断証明書、調査書、
入学検定料、農業経営調書
※入学書類一式は北海道別海高等学校事務室に用意しています。
- 検査日 平成8年2月7日(水) 作文・面接
- 検査場所 北海道別海高等学校農業特別専攻科
※詳細については、別海高校農業特別専攻科
☎086-02 別海町別海緑町70-1 ☎01537(5)2053まで
お問い合わせください。

年末年始の業務日程

- 一般業務納め 12月30日(土)
- 一般業務始め 1月8日(月)

■ 休業

業務名	30日(土)	31日(日)	元旦	2日(火)	3日(水)	4日(木)	5日(金)	6日(土)	7日(日)	備考
一般業務	12時まで									
出納	12時まで					15時まで	15時まで	12時まで		
電算	12時まで					15時まで	15時まで	12時まで		
貯金、組助、共済	12時まで					15時まで	15時まで	12時まで		
A T M	14時まで					15時まで	15時まで	12時まで		
A コ ー プ	平常業務	13時まで					平常業務	平常業務		
資材店舗	12時まで						平常業務	12時まで		30日配達受付 11時まで
農協前給油所	平常業務	13時まで				17時まで	17時まで	17時まで		
桜ヶ丘給油所	平常業務	13時まで				17時まで	17時まで	17時まで		
人工授精	受付13時まで	受付13時まで		業務始め	平常業務	受付管理	受付管理	受付管理	受付日直	31日2-3日の受付 営農、生産各部長
畜産販売	12時まで									別途組合員に 通知します
生乳検査	平常業務	持込に限る 受付正午迄				持込に限る 受付正午迄	持込に限る 受付正午迄	持込に限る 受付正午迄		
生乳検査緊急										別途組合員に 通知します
乳製品工場	15時まで					平常業務	平常業務	平常業務		